

第134回免疫系発生学特別講演

矢倉 英隆 博士

パリ大学ディドロ大学院

科学・医学にとっての哲学

A role for philosophy in science and medicine

2012年4月20日 金曜日

13:00 - 15:15

基礎第二講義室 (基礎B棟2階)

北海道大学医学部ご出身(1972卒)で、東京都医学研究機構にて長く免疫学研究に従事された(1989-2007)矢倉先生は、現在、パリに居を構え、生命科学と医学の哲学を主要テーマのひとつとして、科学哲学に基づく学究生活を送っておられます。また、折にふれて帰国され、『「科学から人間を考える」試み』などの活動を主宰しておられます。この度、ご帰国に際してご来学いただく機会を得ましたので、医学部「医学概論」講義として特別講演いただくことになりました。なお、本講演は、大学院医科学教育部特別講義を兼ねます。多数のご来聴をお待ちしております。

問合先: 疾患プロテオゲノム研究センター生命システム形成分野/大学院医科学教育部免疫系発生学
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)